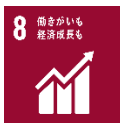


「交通空白」の解消・持続可能な地域公共交通の再構築



現状・課題

- 人口減少による利用者の減少や公共交通機関の運転手の減少等により、県内では路線バスの減便やタクシーの不足が拡大し、地域住民や観光客が公共交通機関による移動の確保ができない「交通空白」が生じている。

取組

● 運転手確保への支援

- ・県内の新たなバス・タクシー運転手を増加させるため、運転手確保に取り組む事業者を支援します。

● 地域のニーズに合った交通手段の確保

- ・市街地の施設間は、多くの住民を運べる定時・定路線のコミュニティバスが運行され、人が少なく集落が点在しているエリアでは、少人数の需要に応える公共ライドシェアや乗合タクシー、デマンドバスが運行されるなど、地域に適した移動手段の最適化を目指します。

● 鉄道の維持確保

- ・JR紀勢本線において、特急くろしおの増便実証運行や貸切列車、駅マルシェなど様々な利用促進策を、沿線自治体やJR西日本、和歌山大学が一丸となって実施します。



寄附金の使途

和歌山県の交通空白の解消、利便性向上のための取り組み、公共交通の環境整備等に要する費用